

宗像市市民参画等推進審議会次第書

日 時	令和元年１２月１６日（月）１０：００～
場 所	宗像市役所２０４会議室
委 員	■ 岡田智子 ■ 佐藤靖成 ■ 山田明 □ 鎌田隆徳 ■ 種田明美 ■ 川野顕太郎 ■ 東博子 ■ 木村健次 ■ 福岡佐知子 (五十音順、敬称略)
事務局	コミュニティ協働推進課（中野、中脇、神、成瀬）

１．はじめに

「宗像、カタロウ～参加、参画、協働による魅力あるまちづくりの基本指針～（案）」について慎重で、活発なご審議をお願いしたい。

２．「宗像、カタロウ～参加・参画・協働による魅力あるまちづくりの基本指針～（案）」について

第１章

事務局から指針（案）に基づき説明

《質疑応答等》

- （意見）プランの中では宗像市のことを本市と記載しているが、その表現だと宗像市に愛情が湧きづらい気がする。可能な限り宗像市に変更してはどうか。
- （意見）当初から比べるとプランの記載内容について見直しが行われ、優しい言葉使いに変えたりしてよくできているが、ボリュームが多くまだ論文を読んでいる印象もある。
- （事務局）答申で内容を分かり易いものにするようにとの意見があったが、内容を盛り込んだ結果、このボリュームになった。そのため、別途情報発信用のダイジェスト版の作成を考えている。
- （意見）４ページの高齢者の一人暮らしのゴミ出しの例は、参加というより共助であり、市民参加の例としてはハードルが高い印象があるため、「家庭でごみの分別をすること」などの例にしてはどうか。
- （意見）６ページのプレーパークの紹介で、「大人と子どもが」と書くと大人も一緒に遊ぶイメージになるため、「大人と」と「一緒に」を消した方がいいのではないか。
- （意見）４ページの最後に、一般的な「参画」と宗像市の「市民参画」の違いについて一言説明を入れてはどうか。

第 2 章

事務局から指針（案）に基づき説明

《質疑応答等》

- （意見）プランでは協働について分かりやすく説明しているが、協働のイメージを膨らませるために事例紹介を用いてはどうか。協働の役割や仕組みがより分かりやすいのではないか。
- （意見）プランに国の高齢化率の推移の記載があるが、全国の数値が出てきてもイメージすることができないので、宗像市の数値を入れるべきではないか。
- （意見）協働は経費削減が主目的ではないとあるが、コミュニティ・センターなどがあることにより結果的に経費が削減につながっている。その点などを踏まえて文章を記載してほしい。
- （事務局）宗像市は昔から職員数が少なく、多くの市民にまちづくりに関わっていただいている歴史的経緯がある。こういったことを前段に書かせていただくなど、文章については検討する。
- （意見）歴史的、社会的背景の中に市内 3 地区のコミュニティ運営協議の設立時期について記載があるが、市内 12 地区にコミュニティ運営協議会の設立完了時期も記入してはどうか。
- （意見）「新たな公共」を民間が担うという「風潮」とあるが、「風潮」は一時的であるので、「考え方が広がる」との記載が適切ではないか。
- （意見）行政が中心となり民間が参加する形態（E）に P F I を入れることを検討してはどうか。全国的に P F I が進められている。

第 3 章

事務局から指針（案）に基づき説明

《質疑応答等》

- （意見）市民活動交流館（メイトム宗像）とあるが、他文章ではメイトム宗像と記載しているため同一施設と認識されない可能性がある。メイトム宗像の前に通称と記載してはどうか。
- （意見）市内の取組事例を分かりやすくするために市内の取組事例の紹介に写真を挿入してはどうか。
- （意見）「新しい地域課題へ取り組もう」の項目には国の動向が詳細に書かれているが、他の項目と同様に簡単な記載内容でよいのではないか。
- （意見）宗像の「子ども・子育て支援」、「地域と学校の連携・協働」への対応の項目に記載ある吉武地区の市内取組事例の紹介は、今の位置だとコミュニティ・スクールの事例に見えるため、コミュニティ・スクールの項目前に入れてはどうか。
- （事務局）吉武地区の市内取組事例の紹介はコミュニティ・スクールの事例紹介ではなく、子ども関連の事例紹介であるためその位置に掲載している。

- (意見)「コーディネート力を身につけよう」の項目に記載がある「PENTAGON」はどういった団体なのかわからない。脚注に説明を記載した方がよいのではないか。
- (意見) 子ども・子育て支援の現状と課題の項目に地域課題とあるが、その説明がないためにイメージがしづらい。本文中に事例を紹介してはどうか。
- (意見) 国の動向-子ども・子育て支援政策、地域と学校の連携・協働-の項目に記載がある①質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供、②保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善の2つについては、市民が事業に直接関係できないため、削除した方がよいのではないか。
- (意見) ②保育の量的拡大・確保、教育・保育の質的改善については、どのような環境にするのかという意味もあり、市民の方も関心が高まっている。そのため宗像市が関係していること示すためにも記載をお願いしたい。
- (事務局) 詳しく書きすぎているのではないか、もっとクローズアップした方がいいのではないかと意見が出ている。協働のプランの中にどこまで落とし込みを行うのか、あまり深く書きすぎると誘導していると受け止められるため、可能な限り簡潔に記載していきたいと進めてきた。記載についてはバランスをとりながら見直しを行う。
- (意見) 生涯学習や社会教育の役割については、文部科学省の「学びを通じた地域づくりの推進に附する調査」に書いてあるので、参考にさせていただきたい。

第4章

《質疑応答等》

- (意見) おわりに記載されている先駆的は言い過ぎではないか、別に適切な書き方があるのではないか。
- (意見) 学校と地域の関係を深めるために吉武地区ではプラットフォームの名称で事業を行っている、取組事例の参考にしてはどうか。
- (意見) 「おわりに」に記載されている「次世代の子どもたち」という表記を「次世代の子どもたちや若い世代」に変更してはどうか。またSDGsを踏まえて、「住み続けたい」を「住み続けられる」にしてはどうか。
- (意見) 推進目標と推進施策の項目に記載される広報紙の記載を市タウンプレスからむなかたタウンプレスと変更してはどうか。

3. 市民サービス協働化提案制度について

事務局から資料に基づき説明

《質疑応答等》

- (意見) 団体の担当者のみが市と協議しても、その協議内容が他のメンバーに全て伝わらないので、協議の方法等を工夫してはどうか。お互いの気持ちを出し合える環境になれば良い意見が出せるのではないか。

- (意見) 団体から市に提案を行う、市からも団体に困り事がないか尋ねるなど相互の連携を行っていくことが大切ではないか。
- (意見) 毎年の振り返りを行い、市の事業として必要なのかどうかを担当課で見極める必要がある。
- (事務局) 担当者同士のみで行うよりみんなで協議を重ねる場づくりが大切なのであると感じている。4年に継続の案件については、来年度以降から2年に1回中間報告をしていくことを検討している。

= 散 会 =